

新型コロナウイルス 接種のお知らせ

回覧

オミクロン株対応ワクチン 3～5 回目

オミクロン株対応ワクチンは、1人1回接種です。
3～5回目でオミクロン株対応ワクチンを接種した方は
ワクチン接種は終了です。

オミクロン株対応ワクチン
ファイザー



★ご予約は各医療機関へご連絡ください。

安良里診療所

【予約】電話 56-0016
【予約受付】月・火・木・金
15時～17時(火17時～19時)
12/28(水)～1/4(水)を除く
【接種日時】週1回程度(予約時に確認)
【接種回数】3・4・5回目

池田医院

【予約】電話 55-0010
【予約受付】火 14時～15時
12/29(木)～1/3(火)を除く
【接種日時】週1回程度(予約時に確認)
【接種回数】3・4・5回目

西伊豆健育会病院

【予約】電話 52-2366
【予約受付】月～金 14時～16時
12/30(金)～1/3(火)を除く
【接種日時】1/10(火) 24(火)
17時～17時30分
【接種回数】3・4・5回目

田子診療所

【予約】電話 53-1555
【予約受付】月・火・木・金
13時30分～15時
12/28(水)～1/4(水)を除く
【接種日時】2週1回程度(予約時に確認)
【接種回数】3・4・5回目

【注意事項】

- (1) 12歳～17歳の方は保護者の同伴が必要です。
- (2) 接種券付き予診票及び接種済証を紛失した場合は、事前に健康福祉課で再発行の手続きを必ずしてください。
- (3) 接種済証はワクチンを接種した証明になるものです。失くさないようにしてください。

「初回接種(1・2回目)」または「ノバックス」を希望される方

【対象】12歳以上
(※ノバックスについて、3～5回目は18歳以上)

【予約】電話 52-1116(健康福祉課)
【予約受付】平日 8時30分～17時
【接種日時】人数が集まり、決まり次第ご連絡します。



- ※ 初回接種(1・2回目)の接種は従来型のワクチンによる接種になります。
- ※ ノバックスは前回接種日より **6か月**間隔を空けてから接種してください。

接種は、年度末(令和5年3月31日)までの予定です。

裏面へ

この冬は、ワクチン接種・解熱鎮痛薬の準備を



**発熱などの体調不良時に備えて、
早めに購入しておきましょう**

- ・解熱鎮痛薬 かかりつけ薬剤師・薬局にお気軽にご相談ください。
- ・生活必需品(体温計、日持ちする食料(5~7日分)など)
- ・新型コロナ抗原定性検査キット
国が承認した「医療用」もしくは「一般用」の
キットを使用してください。

国が承認した検査キットの一覧



(医療用)



(一般用)



**もしものときあわてないように
電話相談窓口などを確認しておきましょう**

まずは、**自身のかかりつけ医療機関の連絡先**

かかりつけ医がいない方は

★インターネットで検索

「医療ネットしずおか」「静岡県発熱等診療医療機関」

★電話の場合はこちら(お住まいにより電話番号が異なります)

・県内 050-5371-0561

★静岡子ども救急電話相談 #8000

★救急車利用マニュアル



(静岡県発熱等診療医療機関)

【電子申請】有症状の方へ抗原検査キットを無料配布します！

新型コロナ感染症による医療機関への負担軽減のため、
発熱や風邪症状など軽度の症状がある方へ、抗原検査キットを無料配布しています。

【対象】中学生から64歳までの発熱や風邪症状がある方

【申込方法】インターネット専用フォームでの申込のみとなります。

URL:<https://logoform.jp/form/pjH5/135674>

右記、二次元コードからもお申込みいただけます。



【配布方法】配達方式・・・翌日までに配送業者により配達されます。(土日祝日も配達されます。)

【配布個数】1人1個(鼻腔ぬぐい液による自己採取方式)

※検査キットが無くなり次第終了となります。

※詳しくは町ホームページ「有症状者への自己検査用抗原検査キットの配布について」
をご確認ください。

【担当】健康福祉課 健康係 TEL52-1116

福祉回数券（バス回数券）購入助成の販売冊数の変更について

令和5年1月より、バス回数券の1日あたりに購入できる冊数を変更いたします。

○変更点

● 1日購入限度5冊 ⇒ 10冊（年間購入冊数は引き続き制限ありません）

● 新規購入時等の申請が不要になります。それに伴い、購入資格証明書の更新は行わなくなります。

● 1月以降、購入時には毎回、本人確認のできる書類（マイナンバーカード、健康保険証又は後期高齢者証・介護保険証、障害者手帳等）の提示が必要となります。

※代理で回数券を購入する方は、対象者の本人確認できる書類、代理者の本人確認できる書類を必ず持参してください。

※以下の内容について変更はありません、

【対象者】

- ① 満70歳以上の方（令和4年4月1日現在）
 - ② 身体障害者手帳1級・2級、精神障害者保健福祉手帳1級・2級、療育手帳Aをお持ちの方
- ① ②のいずれかに該当し、町内に住所がある方へバス回数券の購入を助成します。

※施設入所中の方は購入できません。

【内 容】 バス回数券を1冊500円（額面1,000円）で販売いたします。

【販売場所】

役場福祉センター1階（福祉係）、宇久須支所、田子出張所、安良里出張所

【問合せ】 健康福祉課 福祉係
TEL：52-1961



マイナンバーカード申請・マイナンバーカード交付 時間外開庁のお知らせ(※予約制)

～マイナンバーカードの申請・交付(受取り)の時間外臨時窓口を開設します～

※完全予約制のため、前日までに必ず予約をしてください。

予約先：窓口税務課・窓口年金係 電話0558-52-1112

日 程	受付場所	受付時間
1月 6日(金)	本庁1階	17時から19時30分まで
1月17日(火)		17時から19時30分まで
1月29日(日)		9時から12時00分まで

○マイナンバーカードの申請・交付について○

～平日の役場開庁時に、窓口で受付しています～

○申 請・・**予約は必要ありません。**

各窓口(本庁・田子出張所・安良里出張所・宇久須支所)で申請できます。

※本庁・田子出張所の受付時間は8時15分から17時、

安良里出張所・宇久須支所の受付時間は8時15分から16時までです。

○交 付・・**電話予約が必要です。本庁のみの受取りとなります。**

申請に必要なもの

- ①身分証明書
 - ◎ 1点でよいもの
(運転免許証・パスポート・
写真付きの住基カード・
船舶免許・身体障害者手帳・
在留カード 等)
 - ◎ 2点必要なもの
(健康保険証 [社保・国保・介護・後期]・
年金手帳・年金証書・学生証等)
- ②通知カード
(※紛失して無い場合は、申請の際に
紛失届を記載していただきます。)
- ③住民基本台帳カード(お持ちの方)

※写真は申請にお越しいただいた際
にお撮りします。

交付(受取り)に必要なもの

- ①役場から送られたハガキ
(個人番号カード交付通知書)
 - ②身分証明書
 - ◎ 1点でよいもの
(運転免許証・パスポート・
写真付きの住基カード・
船舶免許・身体障害者手帳・
在留カード 等)
 - ◎ 2点必要なもの
(健康保険証 [社保・国保・介護・後期]・
年金手帳・年金証書・学生証等)
 - ③通知カード
(※紛失して無い場合は、カード交付の際に
紛失届を記載していただきます。)
 - ④住民基本台帳カード(お持ちの方)
- ※上記の持ち物が揃っていない場合は、
カードのお渡しできません。

裏面もご覧ください

マイナポイントの取得はお済みですか？

～マイナポイントの取得要件がさらに緩和されました～

マイナポイントを申請される方について、マイナンバーカードを申請する期間が12月末から **2月末まで**延長されました。

マイナンバーカードを持っていない方(申請していない方)

○令和5年 **2月末まで**に、事前にマイナンバーカードの申請を済ませてマイナポイントの申請を行きましょう。



すでにマイナンバーカードをお持ちの方

○令和5年 **2月末まで**にマイナポイントの申請をしましょう。

申請できるマイナポイント(サンセットコインの場合)

- ① 2万円のチャージを条件とした通常分 (西伊豆町民の方は10,000円分のポイント)
- ② マイナンバーカードを健康保険証として利用申込み (7,500円分のポイント)
- ③ 公金受取口座の登録 (7,500円分のポイント)

※サンセットコインや他キャッシュレスサービスにて、既にマイナポイントを受け取った方は、もう1度同じポイントを受け取ることはできません。

サンセットコインでの手続きの詳細は、「西伊豆町ホームページ」にてご確認ください。

スマホの方はこちら！



○マイナポイントをサンセットコインアプリで取得したい場合

サンセットコインの「アプリ」は、「カード」と比べて紛失する可能性が少なく、残高の確認もできて便利です。この機会に、アプリに切替えてみませんか？

※町民の方は、アプリへ切替の場合にアプリへの切替申請が必要になります。

もし、マイナポイントを「アプリ」で取得したい場合は、マイナポイント申請前にアプリへの切替申請を行ってください。

【切替の方法】

サンセットコインカードとスマホを持って役場本庁へ

⇒ アプリのダウンロード・申請書の記入 ⇒ アプリ切替完了！

問い合わせ先：まちづくり課 商工係

TEL：0558-52-1966

裏面もご覧ください

参加
無料

骨から 健康づくり

回覧

～ 骨粗しょう症とその予防について ～

要予約 電子申請または電話でご予約下さい。
予約期間 令和5年1月5日(木)～20日(金)

講座 A



日程 2023年2月1日(水)

時間 14:00～15:00

定員 20人程度 (先着順)

場所 保健センター
(2階 大会議室)

内容 講話

骨粗しょう症とその予防

講師 国島 学

(地域おこし協力隊 理学療法士)

講座 B

日程 2023年2月15日(水)

時間 10:30～12:00

定員 8人 (先着順)

場所 保健センター
(1階 調理室)

内容 調理実習

骨とからだにいい食事

講師 杉山 華菜

(健康福祉課 管理栄養士)

※ 講座Aを受講する方のみ
ご予約が可能です。

* キレイな姿勢や歩行の秘訣

* 骨密度を維持するためのポイント

など

元気に楽しく生きていくために

骨について学びましょう!



電子申請は
左の
二次元コードから

担当 健康福祉課 健康係

TEL 52-1116 (平日 8:30～17:00)



災害への備えをしていますか？ 1.15(日)〜1.21(土)は 防災週間

各自ができる備え

1 身近な危険個所の確認

ハザードマップを見る。
自宅や職場から避難所まで歩く。
家の耐震化、家具の固定をする。

2 備蓄品の確認

飲み水と食料は最低7日分。
簡易トイレなどを試しに使う。
ローリングストック法の実践。

3 けがや病気に備える

止血の方法などの応急手当を学ぶ。
絆創膏など手当に使うものをそろえる。
避難所での過ごし方のポイントを学ぶ。

避難所の過ごし方のポイントが学べる！
●災害時高齢者生活支援講習
●防災セミナー



日赤静岡県支部の備え

1 救護班の編成

発災時、速やかに対応できるように準備。

- 救護班(医師・看護婦等)……11名
- 血液供給要員……16名



2 県内の災害救援品の備蓄

被災者にいち早く届けられるように備えています。

- 毛布 ●緊急セット※1 ●タオルセット ●下着セット ●タオルケット
- 安眠セット※2 ●プライバシーシート

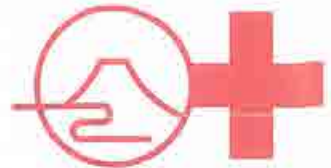


※1 被災下での生活に役立つ携帯ラジオ・懐中電灯・歯ブラシ等
※2 安眠を得るためのマット・エア枕・アイマスク・耳栓・靴下・スリッパ

3 防災ボランティアの育成

被災者の支援ができるよう、応急手当やこころのケアなどの研修を開催しボランティアの育成に努めています。

- 県内登録者数……119名



人間を救うのは、人間だ。

日本の青少年赤十字は、
(Junior Red Cross: JRC)
2022年に創設100周年を迎えました。



JRCの目的は、子どもたちのやさしさと思いやりの心を育てるとともに、主体的に行動する子どもを育てることです。日本赤十字社静岡県支部は、新たな歴史をつくる取り組みとして、独自の教材を用いた防災教育プログラムの更新や、差別や偏見のない社会づくりに向けた学校現場への情報発信などに努めています。これからの社会を担う子どもたち一人ひとりが、時代の要請に応じ、自ら考え行動し、明るい未来をつくりあげていくことを目指し、取り組みを進めます。



つなぐ、つづける、つくる。

PRESENT! 「紙製ファイル」と「ジッパーバッグ」を30名様にプレゼント!

以下を明記の上、WEB・メール・郵送でご応募ください。

- ①お名前 ②郵便番号・ご住所 ③年齢 ④赤十字しずおかVol.132のご意見・ご感想
- ⑤赤十字しずおかで、今後取り上げてほしい情報

※応募でご覧いただいた方には、本号を郵送します。ご希望の方は①④を明記の上、「Vol.132希望」とお書きください。なお、プレゼントのご応募と同時に申し込みいただく場合は、①～⑤を明記の上、応募締切日必着をお願いします。

WEB

メール

応募方法

koho@shizuoka.jrc.or.jp

電話
〒420-0853
静岡市葵区追手町44-17
日本赤十字社静岡県支部
組織振興課



必着厳守 令和5年2月28日(火)必着
当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

※収集した個人情報につきましては、個人情報保護法及び日本赤十字社の個人情報保護規程に則り取り扱います。



静岡県支部

〒420-0853 静岡市葵区追手町44-17
TEL 054-252-8131 <https://www.jrc.or.jp/chapter/shizuoka/>



この印刷物は、みなさまからいただいた資金で作っています。

日本の青少年赤十字

創設100周年

未来のあなたへ、やさしさを。

やさしさと思いやりの心を育むことは、赤十字の精神である「人道」につながります。未来に向けて「気づき、考え、実行する」ことを大切に「健康・安全」、「奉仕」、「国際理解・親善」の3つの分野で実践活動を続けていきます。

この活動は、持続可能な世界をつくるための17の目標達成(SDGs)の一助となっています。



健康・安全

いのちと健康を大切にする

● 防災教育 (炊き出し体験等)

地域赤十字奉仕団と協働する炊き出し体験を通して、防災・減災について考え、「自助」「共助」の大切さを学んでいます。



● 心肺蘇生などの講習

万が一の事故において、対応できるように心肺蘇生やAEDの使い方などを身に着けます。



奉仕

社会の一員として貢献する

● 環境美化

地域の方たちと協働し、身近な公園や海岸など、清掃活動に取り組んでいます。



● 医療従事者へのエール

新型コロナウイルスの治療にあたっている医師や看護師にメッセージを届けています。



国際理解
親善

世界に目を向けて助け合う

● 国際交流事業

海外の赤十字社を訪問したり、メンバーを日本に受け入れたりしています。コロナ禍では、オンラインで交流しています。



● 海外支援 (募金活動等)

海外救援金や「NHK海外たすけあいキャンペーン」などの募金活動を実施しています。



静岡県青少年赤十字

これからの青少年赤十字活動に向けて

2022年11月13日に「青少年赤十字創設100周年記念 静岡県大会」を開催しました。永年にわたり活動を継続している学校や、作文コンクールの表彰を行ったほか、発足当時の加盟校の一つである静岡県立藤枝東高等学校が、自校のJRC活動の歴史を振り返り、今後は、地域における清掃活動等を行うこと、SDGsに係る活動を実施していくとの抱負を発表しました。また、加盟校有志のメンバーが、これからの青少年赤十字活動に向けて「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の分野で実践活動を続けていくことの決意と決意したことを続けることが、未来のあなたへやさしさを届けることにつながるというメッセージを発信しました。



▲ 県立藤枝東高等学校の発表の様子

メンバーからのメッセージ

健康・安全

島田市立島田第五小学校では

災害に備えて多岐にわたる訓練が出来るように、模範体験や消防署を訪問して学んだ消防や火事等への対策を丁寧に伝えたりしています。これからも、いのちを大切に、健康で安全な生活を送れるよう活動を続けていきます。

奉仕

三島市立北上中学校では

掲示板を使って参加者が、学校周辺の河川の清掃活動を手探りで、地域の環境美化や運動会、幼稚園の秋祭りの運営を支援したりしています。これからも、奉仕の心を大切に、地域やまわりの人の役に立つよう活動を続けていきます。

国際理解・親善

静岡県立清瀬館高等学校では

世界には災害や紛争、難民などにより大変厳しい環境下で暮らす多くの人がいるという現状を理解し、その人たちを支援するため、街頭募金を行っています。これからも、広く世界に目を向け、助け合いの輪を広げるなど、国際理解や親善に努めるよう活動を続けていきます。

JRCの成り立ち

第一次世界大戦中に、カナダ・アメリカ・オーストラリアの子もたちが各赤十字社を通じて、兵士やその家族に包帯・被服・慰問品などを送る活動が、JRC誕生のきっかけでした。日本では、1922年にジュネーブで開催された赤十字社連盟総会で青少年赤十字に関する決議をうけ、同年国内初の少年赤十字団が滋賀県の守山尋常高等小学校(現守山市立守山小学校)に結成されたのがはじまりです。現在は全国で約14,000(園)校で3,450,000人のメンバー、240,000人の指導者が活動しています。



▲ 兵士のために食下を届けるオーストラリアの児童と教員(第一次世界大戦中)

静岡県のJRCの歩み

静岡県では第二次世界大戦後の1948年に、藤枝高校・志太高校・井通小学校・広沢小学校・浅間小学校・地名小学校の計6校、1,360人ではじまりました。2022年現在では、幼稚園保育園23園、小学校156校、中学校89校、高校99校、特別支援学校5校で計372校、約108,000人のメンバーが活動しています。



▲ 静岡県 第1回青少年赤十字大会(1965年)

てん こく

篆刻教室

主催：西伊豆町文化協会



春

福

受講者募集！

篆刻（てんこく）とは、取材に文字を彫ることを言い、主に篆書（てんしょ）という書体が使われていることから篆刻とされています。篆刻印は書道作品や絵画作品の落款印（らっかんいん）として使われることが多いですが、印面だけでなく側面などにデザインが施され、ひとつの工芸美術品として独立しました。

【日 時】令和5年2月2日（水）・9日（水）・16日（水）

午後2時～4時まで

※3日間受講して1つの作品を仕上げます。

【場 所】西伊豆町中央公民館（安良里）1階 講義室

【講 師】小川いずみ 先生

【参加対象】町内在住の方で、全日程に参加できる方

【募集定員】10名（※先着順）

【参加費用】無料（材料等、すべてこちらで用意します。）

申 込 先：西伊豆町教育委員会事務局

社会教育係 TEL 56-0212 まで

募集期間：1月10日（火）～1月13日（金）

※定員にない次第締め切りとなります。

災害ボランティアコーディネーター養成講座

回 覧



1 目的

災害時にボランティア活動が円滑に行われるためには、ボランティアの受入れや活動先の調整など中核的な役割を担う「災害ボランティアコーディネーター」の存在が不可欠です。

大規模災害の発生に備え、災害ボランティア活動の体制づくりを進め、効果的に復旧・復興へ結びつけるよう災害ボランティアコーディネーター養成講座を開催します。

2 開催日時・定員

	日 [P]	程	時 間	定 員
1日目	令和4年1月22日(日)		午前9時00分～午後3時30分	40名
2日目	令和4年1月29日(日)		午前9時00分～午後4時00分	40名

3 開催場所 西伊豆町住民防災センター（宇久須）3階 研修室

4 受講対象

全日程に参加が可能で講座の趣旨を理解し、終了後には平常時から関係機関と協力して実際に活動ができる方。（※ 全講座を受講された方は、静岡県より登録証が交付されます。）

5 講座内容

講義：災害時のボランティア活動及びコーディネーターの役割について

演習：災害ボランティア本部の立上げ訓練等

（※ 講座内容の詳細、申込み等については、裏面をご確認ください。）☞

《講座内容の詳細》

(1日目)

時 間	講習テーマ・内容	講師等
9:00~9:10	開講・オリエンテーション	
9:10~9:55	第4次地震被害想定の概要	静岡県危機管理局
9:55~10:40	災害時の県、市町の動き	
10:50~12:20	害ボランティアと ボランティアコーディネーション	賀茂災害ボランティア コーディネートの会 玉木 優吾 氏
13:00~15:00	演習 避難所運営ゲームHUG	西伊豆町災害ボランティア コーディネーター連絡会
15:00~15:30	振り返り・事務連絡	

(2日目)

時 間	講習テーマ・内容	講師・内容
9:00~9:10	オリエンテーション	
9:10~10:10	災害ボランティアの受け入れ等に 関する各市町の状況	松崎町社会福祉協議会 西伊豆町社会福祉協議会
10:10~12:10	演習 災害ボランティア本部の運営訓練	西伊豆町災害ボランティア コーディネーター連絡会
13:00~15:00	演習 クロスロードゲーム	西伊豆町災害ボランティア コーディネーター連絡会
15:00~16:00	振り返り・事務連絡・閉講	

6 申込み先

下記の事務所にある申込み用紙に必要事項を記入しご提出ください。

西伊豆町社会福祉協議会（宇久須：西伊豆町賀茂健康センター内）

地域包括支援センターにしいず（仁科：西伊豆町福祉センター内）

※ 申込み期限 令和5年1月16日（月）

8 問合せ先

事務局：西伊豆町社会福祉協議会 担当：山本・藪田

電 話：0558-55-1313 FAX：0558-55-1330